



平成 20 年 4 月 15 日

各 位

会 社 名 日本ビクター株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 国彦
(コード番号 6792 東証・大証第一部)
問合せ先 取締役経理部長 武田 雅亮
(TEL 045-450-2837)

平成 20 年 3 月期通期の連結および個別業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 1 月 30 日に公表致しました平成 20 年 3 月期通期の業績予想につきまして下記のとおり修正致します。

記

1. 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	680,000	3,000	△7,000	△32,500
今 回 修 正 予 想 (B)	658,000	3,100	△8,000	△47,800
増 減 額 (B－A)	△22,000	100	△1,000	△15,300
増 減 率 (%)	△3.2%	3.3%	-	-
前期実績 (平成 19 年 3 月期)	742,685	△5,656	△11,695	△7,891

2. 平成 20 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	340,000	1,000	△4,800	△38,000
今 回 修 正 予 想 (B)	330,000	1,700	△4,800	△50,800
増 減 額 (B－A)	△10,000	700	-	△12,800
増 減 率 (%)	△2.9%	70.0%	-	-
前期実績 (平成 19 年 3 月期)	369,589	△4,468	△6,955	△24,455

3. 修正の理由

(1) 連結業績

売上については、民生部門が市場競争の激化や、液晶テレビで一部新商品の投入遅れが発生したこともあって減収となり、また電子デバイス部門では客先の生産調整なども影響し、グループ全体として前回予想を約 220 億円下回る見通しです。

利益面では、営業利益は収益重視の販売施策の推進や、生産・販売拠点の統廃合や事業譲渡などの構造改革が順調に推移したことにより前回予想を確保できる見通しですが、急速な円高による為替差損の発生等により経常利益は悪化する見込です。また業績回復が遅れているディスプレイ関連事業については、現在抜本的に事業構造を見直す中期戦略を策定中ではありますが、これに伴い同事業についての減損損失等の特別損失として約 71 億円を前回予想に加え計上いたします。また記録メディア、オーディオ関連、その他事業についても減損損失等の特別損失を追加計上することによって、特別損益が 1 月 30 日発表時点の 110 億円の損失見込から約 242 億円の損失になることもあり、当期純利益は前回予想を 153 億円下回る見通しです。

(2) 個別業績

連結と同様に、営業利益は公表値を上回る見通しですが、当期純利益については減損損失等の特別損失を計上するとともに、関係会社における減損処理等に対して投資損失引当金を計上することもあり、前回予想を 128 億円下回る見通しです。

以 上